

# 旅客船のバリアフリー事例集

平成30年10月



独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

## 目次

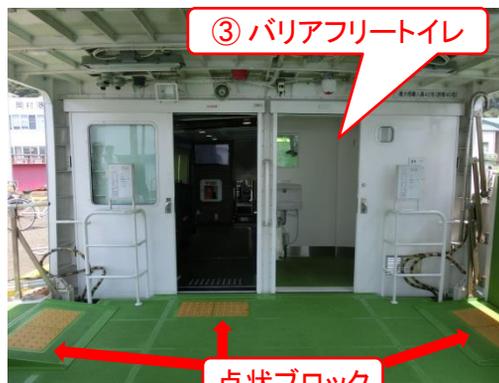
- |                         |    |
|-------------------------|----|
| (1) 総トン数 19トン型 旅客船      | …1 |
| (2) 総トン数 19トン型 旅客カーフェリー | …3 |
| (3) 総トン数 50トン型 旅客船      | …5 |
| (4) 総トン数100トン型 旅客船      | …7 |
| (5) 総トン数200トン型 旅客カーフェリー | …9 |



### 3. バリアフリー概観



① **タラップ**：タラップは両舷に設置（写真は左舷側）。



③ **バリアフリートイレ**

点状ブロック

② **客室出入口**：タラップのスロープ部分と出入口の手前に、視覚障害者用の「点状ブロック」を設置。



③ **バリアフリートイレ**：車いすが進入可能。

船内情報提供設備



⑤ **バリアフリー席**

点状ブロック

④ **車いすスペース**：船内情報提供設備（モニター）とAED（自動体外式除細動器）も設置。



⑥ **優先席**：「車いすスペース」奥の階段を下りて右側が「優先席」。



通路や階段の手摺に「点字ブロック」を設置。

## (2) 総トン数19トン型 旅客カーフェリー

### 1. バリアフリーのポイント

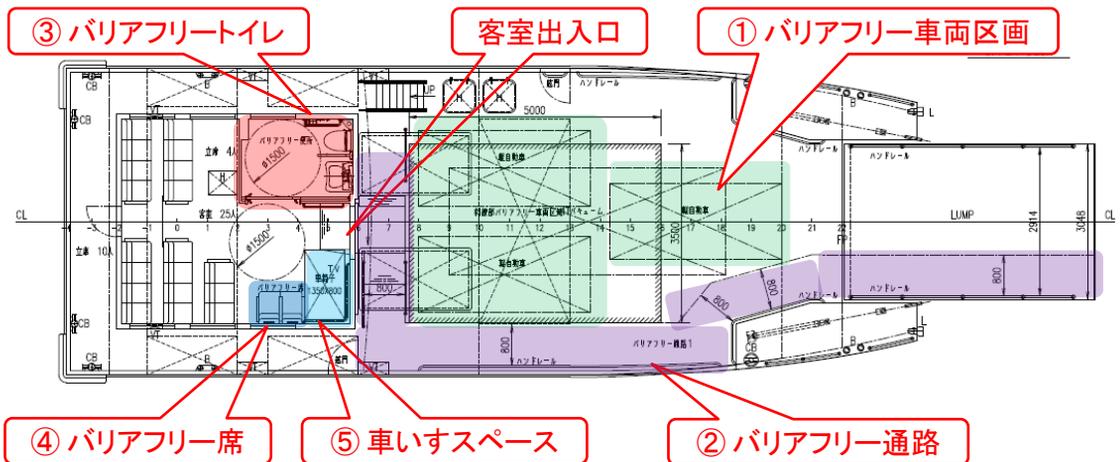
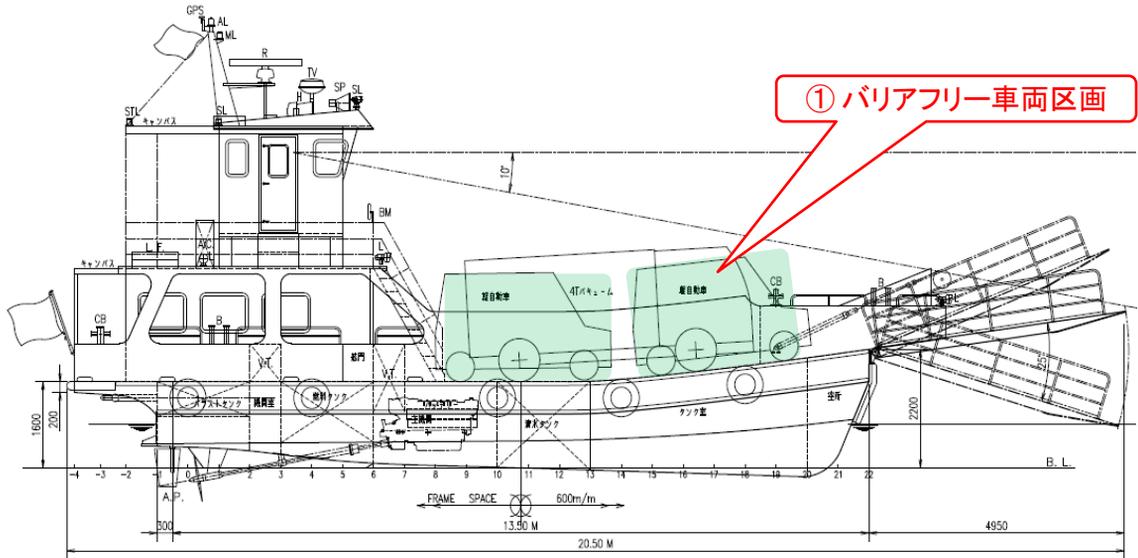
#### 要目

全長	20.50M
幅	6.00M
深さ	1.60M
総トン数	19トン
航行区域	平水区域
航海速力	8ノット
航海時間	15分
利用栈橋	固定岸壁
船員	2名
旅客	37名

#### ポイント

- 19GTの小型カーフェリーだが、**車いすの転回が可能**な「**バリアフリースイレ**」を設置（19GT型には少ない）。
- 搭載車両は3台で、このうち1台分を「バリアフリー車両区画」として、優先車両のシンボルマークを設置。
- ランプウェイと車両甲板の右舷側に「バリアフリー通路」を設置。

### 2. バリアフリースペースの配置



### 3. バリアフリー概観



① バリアフリー車両区画： 搭載車両3台中の先頭位置。写真右（右舷側）の白線の右がバリアフリー通路。



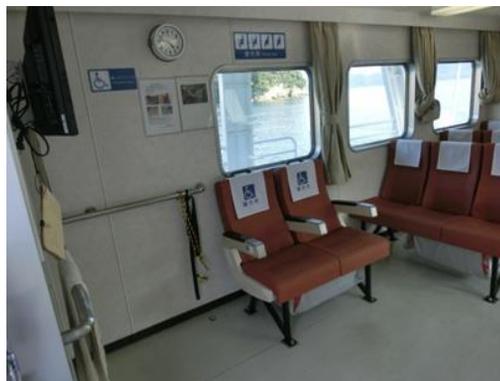
② バリアフリー通路： 写真左（右舷側）がバリアフリー通路側。出入口の手前に手摺とスロープを設置。



③ バリアフリースイール： トイレ内で車いすの転回が可能。トイレ出入口の段差はほとんどない。手洗と鏡は低い位置に設置。



④ バリアフリー席： 客室出入口から入ってすぐの左側に設置。



⑤ 車いすスペース： 「車いすスペース」と「優先席」のシンボルマークを設置。



### 3. バリアフリー概観



① **バリアフリー昇降タラップ**：左の写真が閉じた状態で、右が開いた状態。**昇降式**なので、潮の干満にかかわらず、タラップは傾斜のない水平状態にできる。



① **バリアフリー昇降タラップ**：船内側も段差がほとんどない。



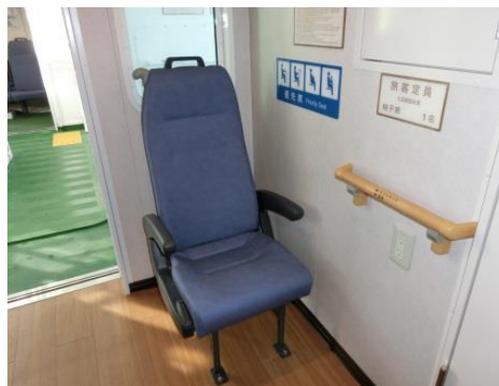
② **バリアフリートイレ**：トイレ内で車いすの転回が可能。手洗と鏡は低い位置に設置。

② **バリアフリートイレ**

客室出入口



③ **バリアフリースペース**：客室出入口とトイレ出入口は、幅が十分広い。トイレは自動ドア。



④ **バリアフリー席**：船内入口とトイレ入口は十分広い。トイレは自動ドアで、開閉ボタンが大きい。

## (4) 総トン数100トン型 旅客船

### 1. バリアフリーのポイント

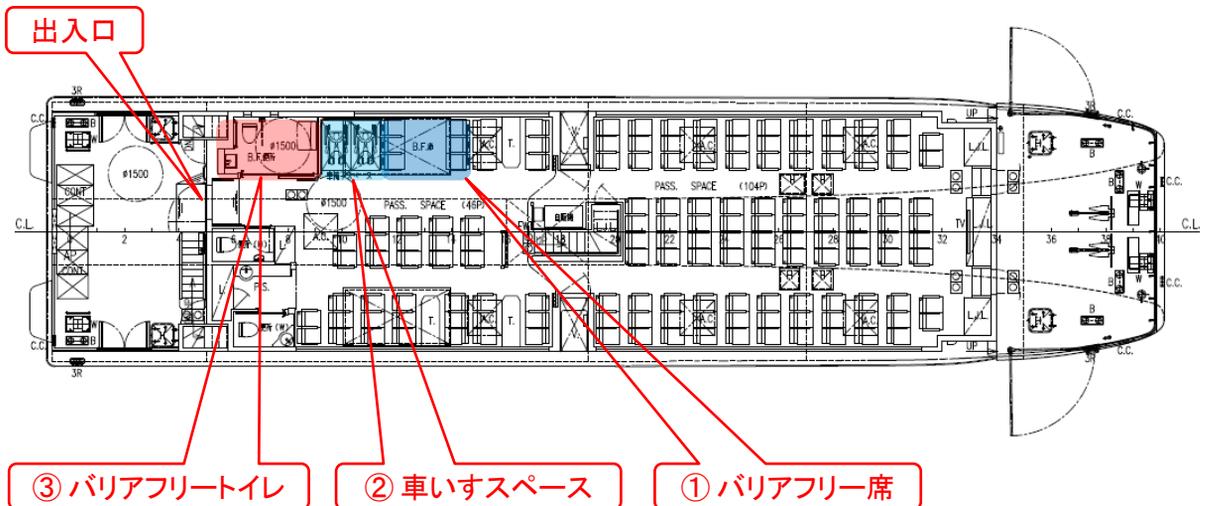
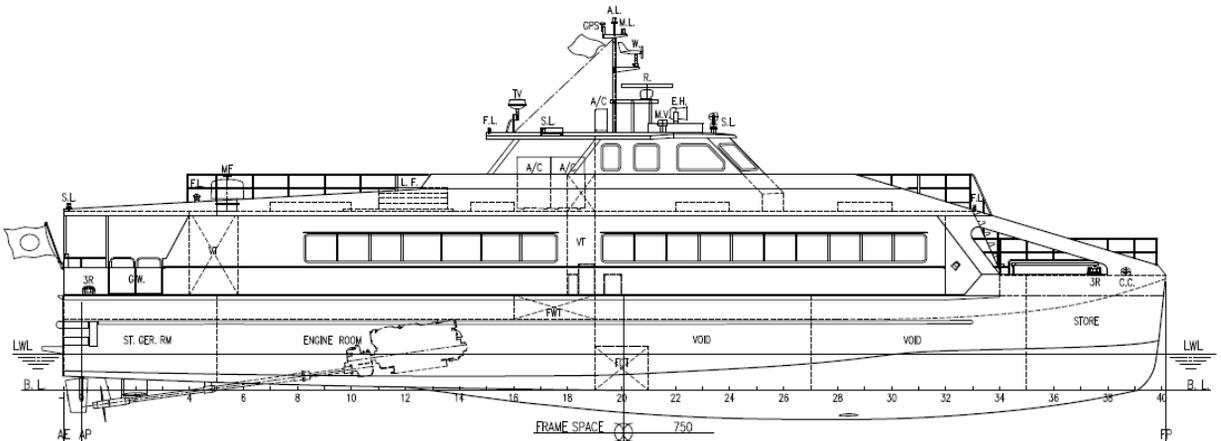
#### 要目

全長	30.60M
幅	7.00M
深さ	2.60M
総トン数	124トン
航行区域	限定沿海区域
航海速力	26ノット
航海時間	31分
利用桟橋	ポンツーン
船員	3名
旅客	150名

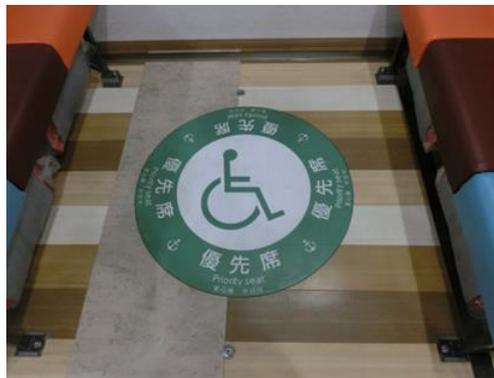
#### ポイント

- **車いすの転回が可能な広い「バリアフリートイレ」**を設置しているが、これと別に女性専用トイレ・男性専用トイレも設置。
- 出入口から最も近い座席を「優先席」として、大きなシンボルマークを設置。
- 「シップ・オブ・ザ・イヤー2017」小型旅客船部門賞を受賞。船内デザインなども評価された。

### 2. バリアフリースペースの配置



### 3. バリアフリー概観



① **バリアフリー席**： 出入口から一番近い席を「優先席」として、十分な広さを確保した。床面に、目立つように大きなシンボルマークを設置。



② **車いすスペース**： 車いす2台の固定が可能で、使いやすいように十分な広さを確保した。「優先席」の隣なので便利である。



③ **バリアフリースイートイレ**： **トイレ内で車椅子の転回が可能**。トイレの外側にAED（自動体外式除細動器）を設置。トイレの内装、外装は清潔感のある明るいデザインとした。手洗と鏡は低い位置に配置。

# (5) 総トン数200トン型 旅客カーフェリー

## 1. バリアフリーのポイント

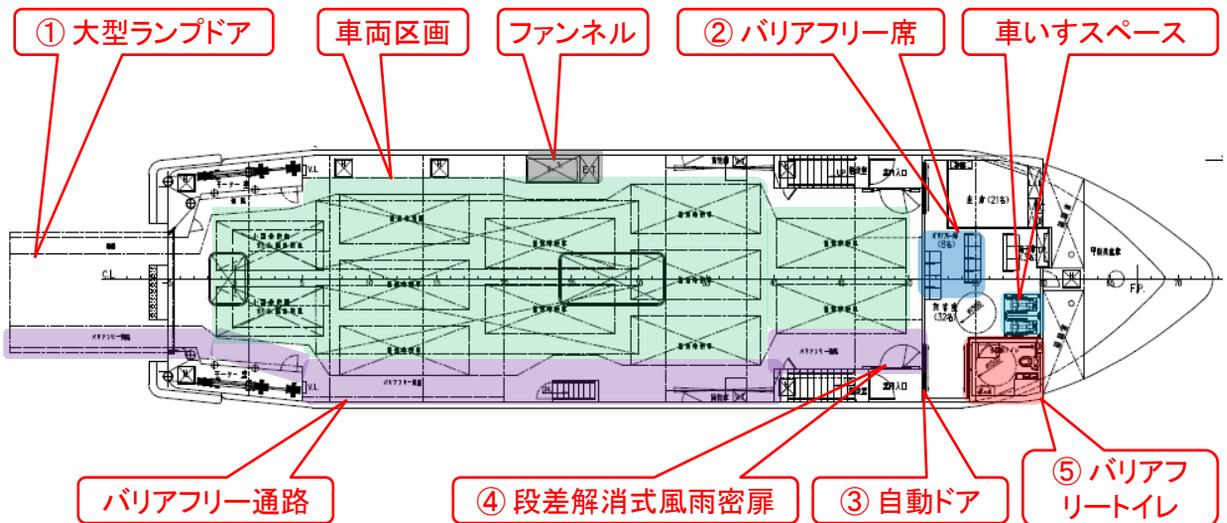
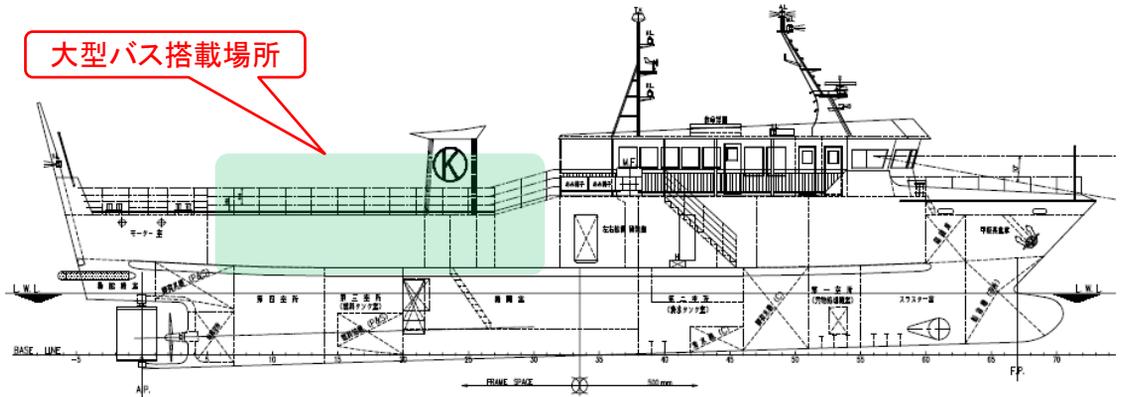
### 要目

全長	39.78M
幅	9.00M
深さ	3.30M
総トン数	182トン
航行区域	平水区域
航海速力	12ノット
航海時間	50分
利用棧橋	ポンツーン
船員	5名
旅客	200名

### ポイント

- 182GTの小型フェリーだが、観光客の増加を考慮し、大型バス2台が搭載可能。
- 「バリアフリー通路」は右舷側、「ファンネル」は左舷側なので、通行しやすい。
- 「段差解消式風雨密扉」により、スロープが不要となり、車両区画から客室への車いすでの移動が容易。省スペース化も実現（スロープを使用する場合、船内側通路に転回用の広いスペースが必要）。

## 2. バリアフリースペースの配置



### 3. バリアフリー概観



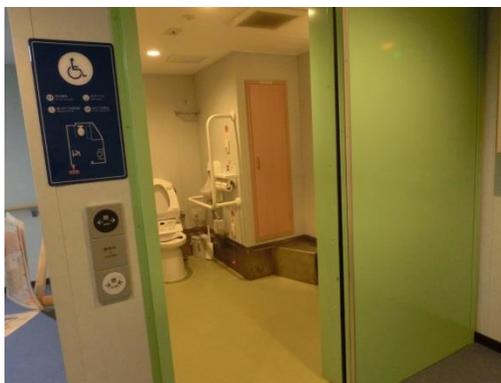
① **大型ランブドア**：幅5mで大型バスの搭載も容易。バリアフリー通路は右舷、ファンネルは左舷に配置。



② **バリアフリー席**：全部で8席あり、十分な広さを確保。



④ **段差解消式風雨密扉**：コーミング部分は**自動開閉式**。左の写真が閉じた状態。右が開いた状態。扉を超えて左奥が自動ドアで、その中がバリアフリースペース。



通路や階段の手摺には、「点字ブロック」を設置。写真は2階客席の手摺。